

## 鹿浜菜の花中学校の担任制について

### ～学級担任固定制から学年担当制へ～

本校では令和元年度（平成 31 年 4 月）から、以下の目的により年間を通じての学級担任固定制を廃止し「学年担当制」を実施しています。

この制度は本校教育目標「自ら学ぶ 豊かに鍛える 共に歩む」を達成するための柱として、特に生徒の「自己指導力」を向上させることを目的として実施しています。

「学年担当制」についてのご理解をいただきますようお願い申し上げます。

足立区立鹿浜菜の花中学校

校長 大久保 隆一

### 学年担当制の目標および目的・方法

- 「自ら考え、判断して行動できる生徒」いわゆる自己指導力が身に付いており自律した生徒の育成が目標です。
  
- 先生の一人一人の良さを学年全体に浸透させることを目的としています。
  
- 生徒の主体性を生かした学級づくりをするために「担任カラーの学級」から「生徒カラーの学級」を目指しています。
  
- 担任の意向や考えを中心とした学級経営（いわゆる「学級王国」）ではなく、生徒の自律心や自己指導力による学級作りをするために以下のような力を育てることを目指しています。
  - ・生徒たちが自分たちの問題解決を担任に頼りすぎず、自分たちの課題として捉え、解決しようとしたり、相談しようとしたりする態度を育てる。（生徒の課題）
  - ・担任、副担任の負担感の格差を軽減し働き方改革につなげるとともに、チーム学年として全員の生徒を学年全体で育成する。（教員の課題）
  
- こうした目標・目的のもと、以下の取組を実施します。
  - ・学年の教員全員で全学級に関わることとし、朝の会、給食指導、道徳、学活は適時適切な教員が当たる。
  - ・学年主任、副学年主任が学級の状況をみて教員を配置する。
  - ・三者面談等は生徒（保護者）による指名制とする。
  - ・学年教員は全生徒の情報共有のため鋭意努力する。